

2020年11月17日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

アサヒグループホールディングスに VividWorks 社の 3D ビジュアライゼーション環境を提供
商品棚の目立ち度を VR で再現し、パッケージ開発業務をサポート

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、アサヒグループホールディングス株式会社(代表取締役社長CEO:小路 明善、本社:東京都墨田区)に、3Dシミュレーションや仮想現実(VR)／拡張現実(AR)分野で高い技術力を持つフィンランドのITサービス企業VividWorks Ltd. (CEO:Sakari Suhonen、本社:フィンランド オウル市、以下:VividWorks社)のクラウド型の3Dビジュアライゼーション「VividPlatform(ヴィヴィッドプラットフォーム)」を提供しました。

アサヒグループホールディングスは、商品パッケージのデザイン決定プロセスや消費者調査を高度化・効率化することを目的とした「VR商品パッケージ開発支援システム」のプラットフォームとしてVividPlatformを使用しています。

アサヒグループホールディングスの「VR 商品パッケージ開発支援システム」は、検討段階の商品パッケージデザイン案をコンビニエンスストアの冷蔵ショーケースなどに陳列された状態でモニターに再現するシステムです。VRゴーグルを装着すると実際に冷蔵ショーケースの前に立っているような状態で商品を見ることができ、VRゴーグルで見えている状態もモニターに表示されるため、お客様の目線でどのように商品が見えるかを商品開発のチームなどの複数人で共有・確認することができます。

「VR 商品パッケージ開発支援システム」の 3D の仮想商品棚で VividWorks 社の VividPlatform が採用されました。VividPlatform は、直感的なユーザインタフェースを持ったクラウド型の 3D ビジュアライゼーションツールです。

本システムは、仮想空間に店舗、商品棚などを再現しており、簡単な操作で商品のデザインや商品棚内のレイアウト、商品棚自体の構成や配置の変更が行えます。アサヒグループでは、効果的なパッケージデザインや陳列方法の開発における業務効率化を目指し、本システムを導入しました。システムの構築は、CTC と CTC のグループ会社であるアサヒビジネスソリューションズが共同で行いました。

CTC は、2015 年 8 月から VividPlatform の取り扱いを開始しており、長年、CAD や画像処理関連の製品の提供に基づき、VividPlatform を活用したサービスや関連システムの構築、CG コンテンツの作成支援、コンサルティングサービスを提供しています。

今後も、CTC と VividWorks 社は、飲料や食品、日用品などの消費財を中心とした製造業のお客様に加え、コンビニエンスストアを含めた小売業のお役様にも VividPlatform を積極的に提案し、VR/AR の技術によって、お客様の商品開発や営業、マーケティングでのデジタルトランスフォーメーション(DX)に貢献していきます。

■VividWorks 社について

2006 年設立。本社はフィンランド オウル市。欧米、アジア市場を中心にグローバルで事業展開している。3D データから CG ツールを用いて製品や建物などを可視化するサービス VividPlatform を開発し、世界の大手家具・インテリア企業を中心とした豊富な販売実績があり、現在、建設資材、不動産や自動車などの企業に向けてサービスを展開している。

■VR 商品パッケージ開発支援システムの画面サンプル



※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp